



第31回全日本バレーボール小学生大会出場 黒潮キッズバレーボール スポーツ少年団

県大会は全てストレート勝ち。文句なしの3連覇。

「黒潮キッズ」と聞いただけで相手チームの選手が萎縮してしまうほどの圧倒的な強さで勝ち続けた。全国大会ベスト8を目指してきたチームにとっては、これも通過点に過ぎなかった。

全国大会は、予選リーグで群馬、宮城の代表に、いずれも2対0のストレート勝ち。しかし、決勝リーグで埼玉代表に惜しくも1対2で敗れ、ベスト8入りを逃す。節電のため3セット目が15点で決する特別ルールが採用された今大会。後半の粘りと追い上げが持ち味の黒潮キッズは戸惑った。序盤の失点が焦りにつながりまさかの敗戦を喫した。

鈴木正人監督は「ベスト8の壁は厚かったが、手応えは十分あった」と選手をたたえた。キャプテンの野ヶ山拓実君（第一小6年）は「いつものように声を出していれば勝てた試合だった」と悔しさをにじませた。4年連続の全国大会出場を目指し、黒潮キッズの熱き戦いは始まっている。